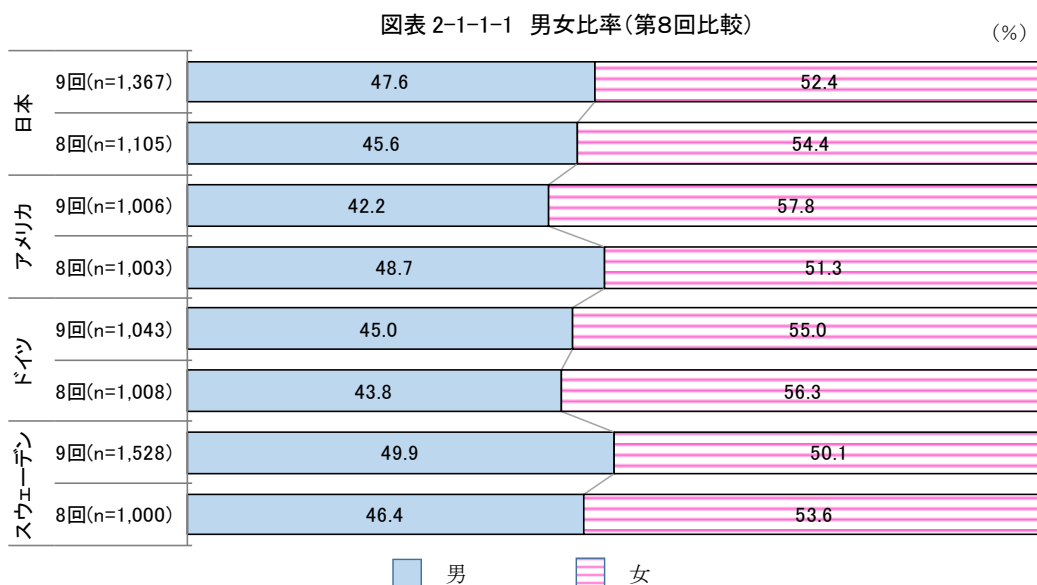


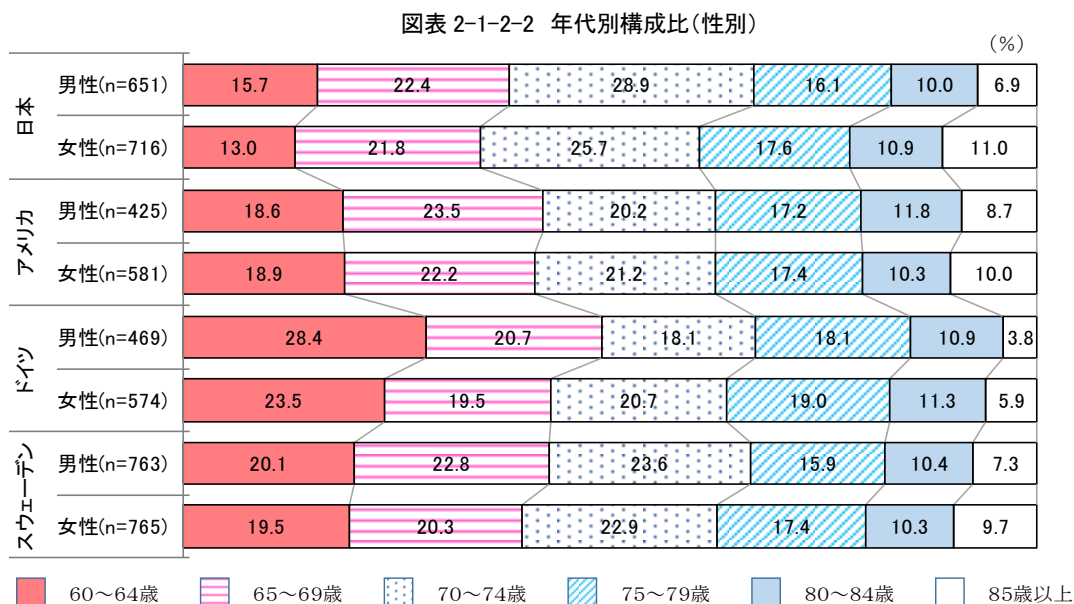
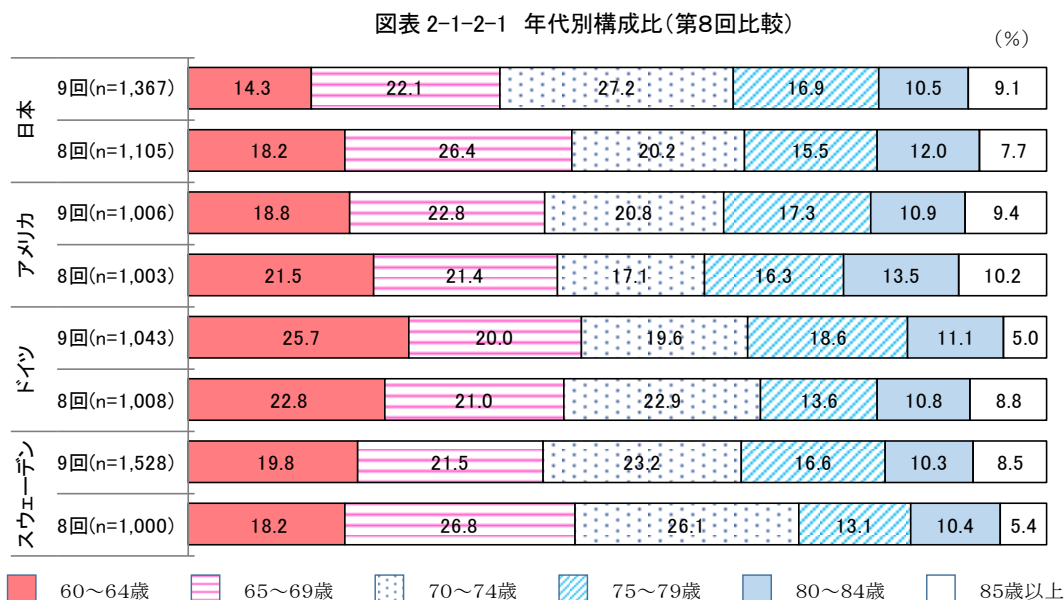
第2章 調査結果の概要

1. 調査対象者の基本属性

(1) 男女比率 (F 1)



(2) 年代別構成比 (F 2)

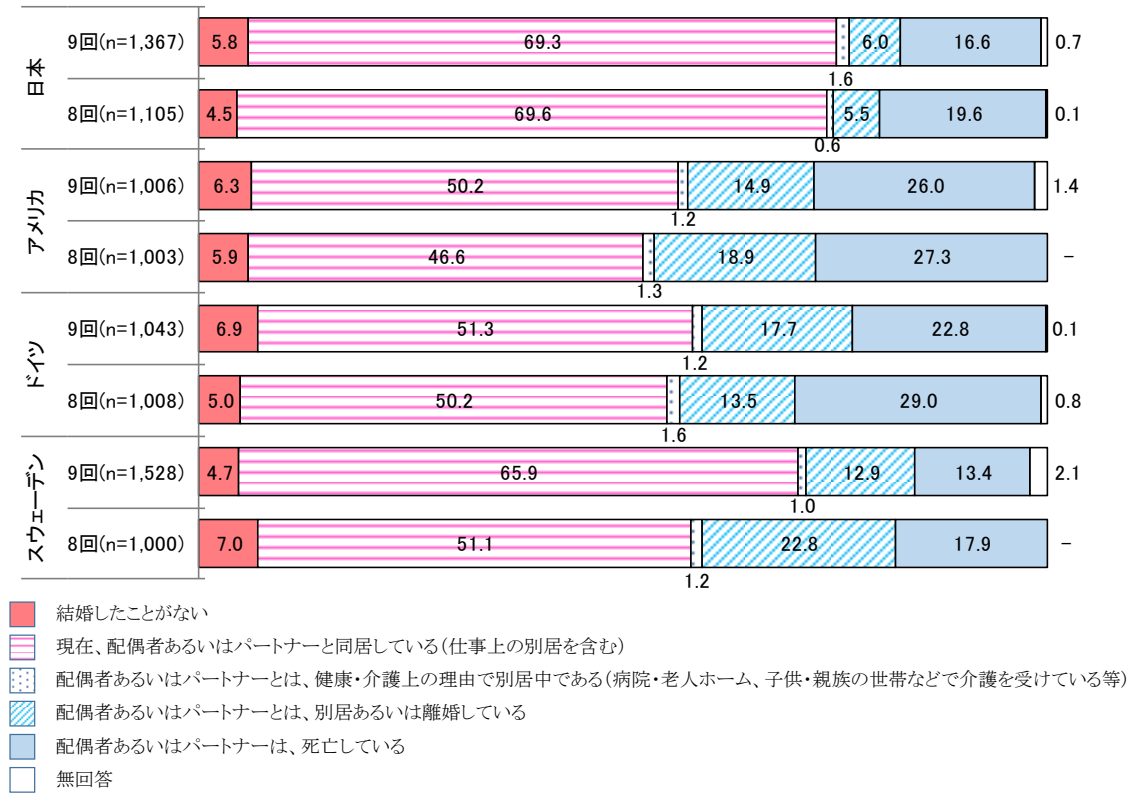


(3) 結婚の状況 (事実婚含む) (F 3)

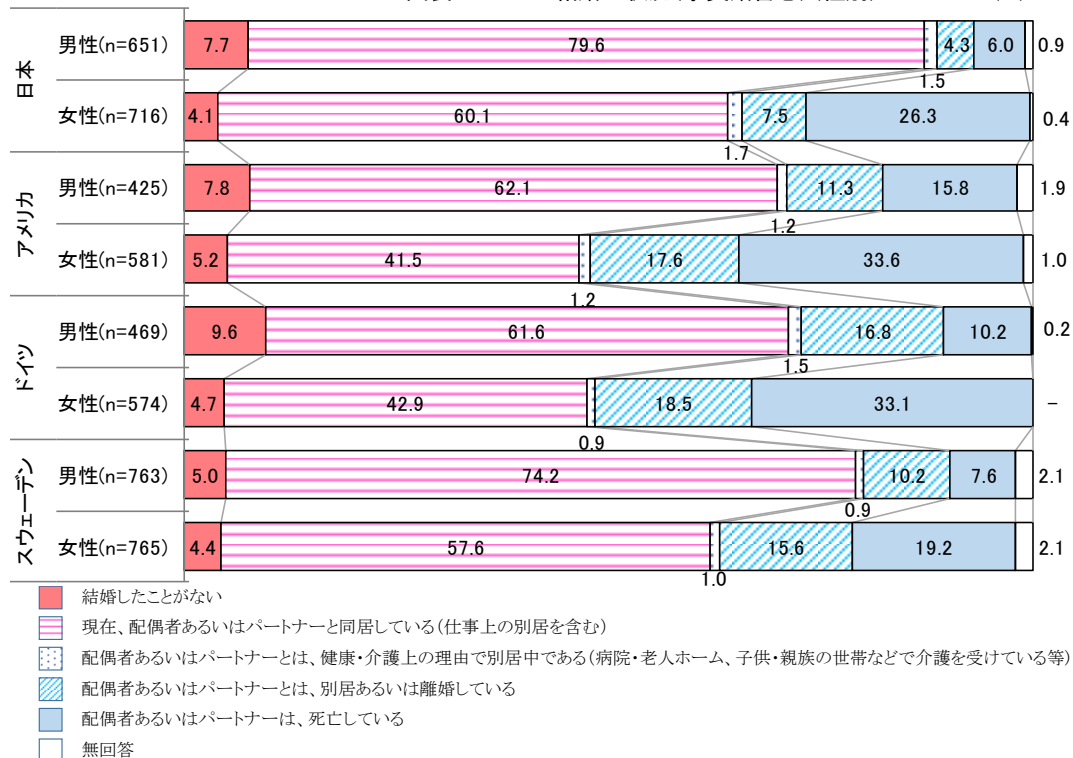
事実婚を含む現在の結婚の状況を第8回調査と比較してみると、各国とも最も割合の高い「現在、配偶者あるいはパートナーと同居している(仕事上の別居を含む)」の割合は、スウェーデン(第8回 51.1%→第9回 65.9%)で第8回より15ポイント高くなっているが、他の3か国では大きな差はみられない。(図表 2-1-3-1)

性別にみると、「現在、配偶者あるいはパートナーと同居している」割合は、各国とも女性より男性が2割前後上回っている。(図表 2-1-3-2)

図表 2-1-3-1 結婚の状況(事実婚含む)(第8回比較) (%)



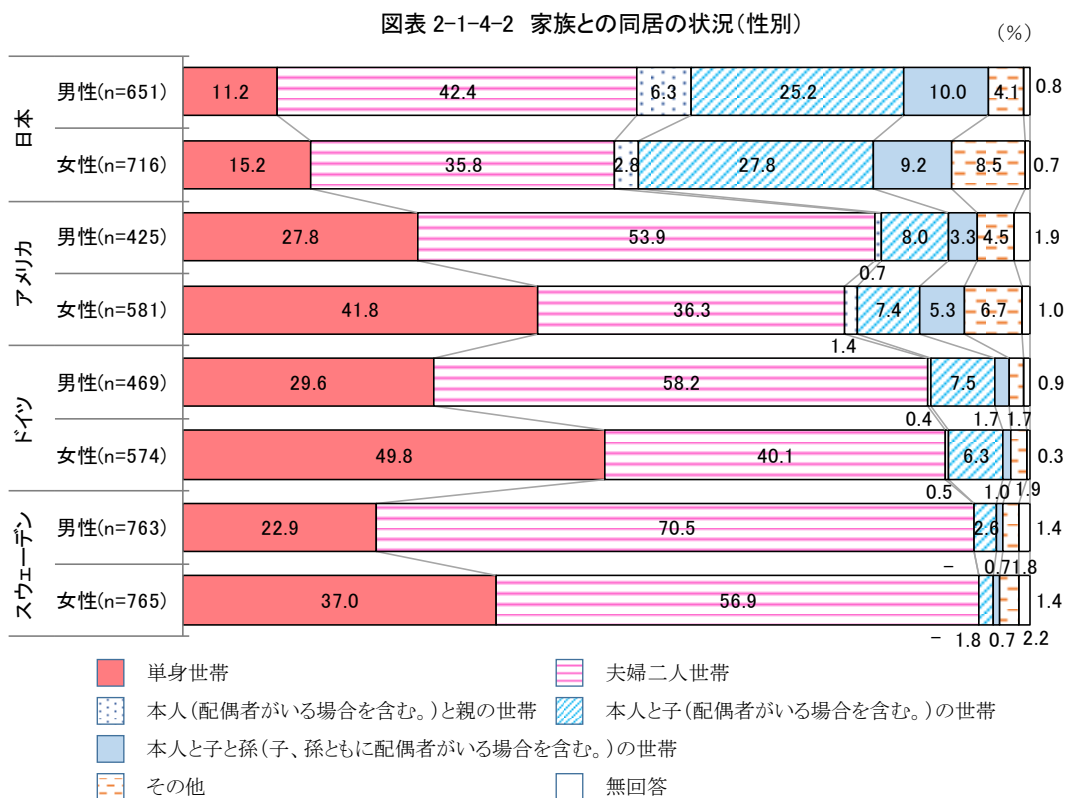
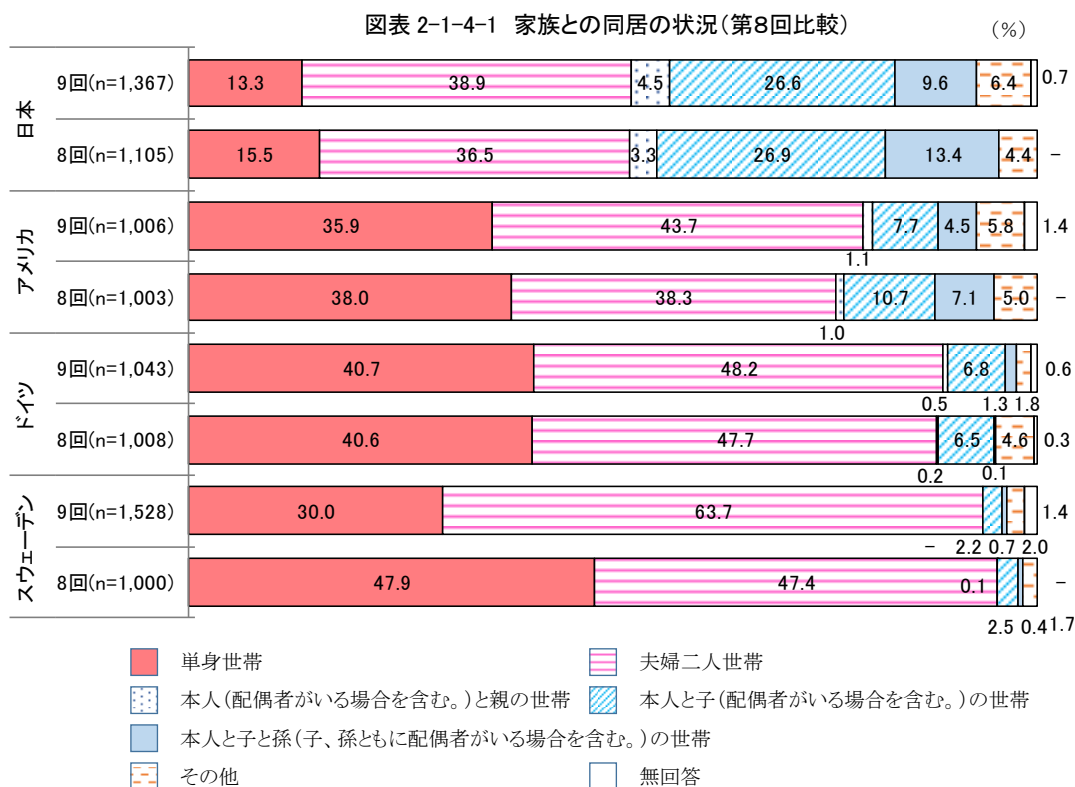
図表 2-1-3-2 結婚の状況(事実婚含む)(性別) (%)



(4) 家族との同居の状況 (F 4)

家族との同居の状況を第8回調査と比較してみると、日本、アメリカ、ドイツでは大きな差はみられないが、スウェーデンでは「単身世帯」(第8回 47.9%→第9回 30.0%)が前回調査より18ポイント減少した一方、「夫婦二世帯」(第8回 47.4%→第9回 63.7%)が16ポイント増加している。(図表 2-1-4-1)

「家族との同居の状況」を性別にみると、欧米3か国では「単身世帯」の割合は、男性よりも女性が高くなっているが、日本では大きな差はみられない。(図表 2-1-4-2)



年代別にみると、各国とも年代が高くなるほど、「単身世帯」の割合が高くなる傾向があるが、日本より欧米3か国の方が、その傾向が顕著である。

一方、日本では80歳以上では、ほぼ3人に1人が「本人と子（配偶者がいる場合を含む。）の世帯」（33.7%）である。（図表2-1-4-3）

図表 2-1-4-3 家族との同居の状況(年代別)

		n	単身世帯	夫婦二人世帯	本人（配偶者がいる場合を含む。）と親の世帯	本人と子（配偶者がいる場合を含む。）の世帯	本人と子と孫（子、孫ともに配偶者がいる場合を含む。）の世帯	その他	無回答
日本	60～64歳	195	9.7	35.4	11.8	27.7	4.1	10.8	0.5
	65～69歳	302	11.3	42.1	7.6	24.5	8.3	6.0	0.3
	70～74歳	372	12.9	45.4	3.0	24.7	8.3	4.8	0.8
	75～79歳	231	16.5	42.4	1.3	22.9	11.3	5.2	0.4
	80歳以上	267	16.1	25.8	0.4	33.7	15.4	7.1	1.5
アメリカ	60～64歳	189	20.1	50.3	2.6	6.9	5.8	11.6	2.6
	65～69歳	229	26.6	50.7	0.4	9.6	4.8	6.1	1.7
	70～74歳	209	31.6	50.2	1.9	6.7	4.8	4.8	-
	75～79歳	174	46.6	39.7	0.6	6.3	2.9	2.9	1.1
	80歳以上	205	56.1	26.8	-	8.3	3.9	3.4	1.5
ドイツ	60～64歳	268	34.0	48.9	1.1	12.7	2.2	1.1	-
	65～69歳	209	36.4	52.2	1.0	6.7	0.5	1.9	1.4
	70～74歳	204	41.2	50.5	-	5.9	0.5	1.5	0.5
	75～79歳	194	42.8	47.4	-	4.1	2.6	2.6	0.5
	80歳以上	168	54.2	40.5	-	1.8	0.6	2.4	0.6
スウェーデン	60～64歳	302	25.2	64.6	-	6.0	1.0	3.0	0.3
	65～69歳	329	21.3	72.3	-	2.4	0.6	2.1	1.2
	70～74歳	355	26.8	69.9	-	1.1	0.3	1.1	0.8
	75～79歳	254	31.1	65.7	-	0.4	0.4	0.8	1.6
	80歳以上	288	47.9	43.4	-	1.0	1.0	3.1	3.5

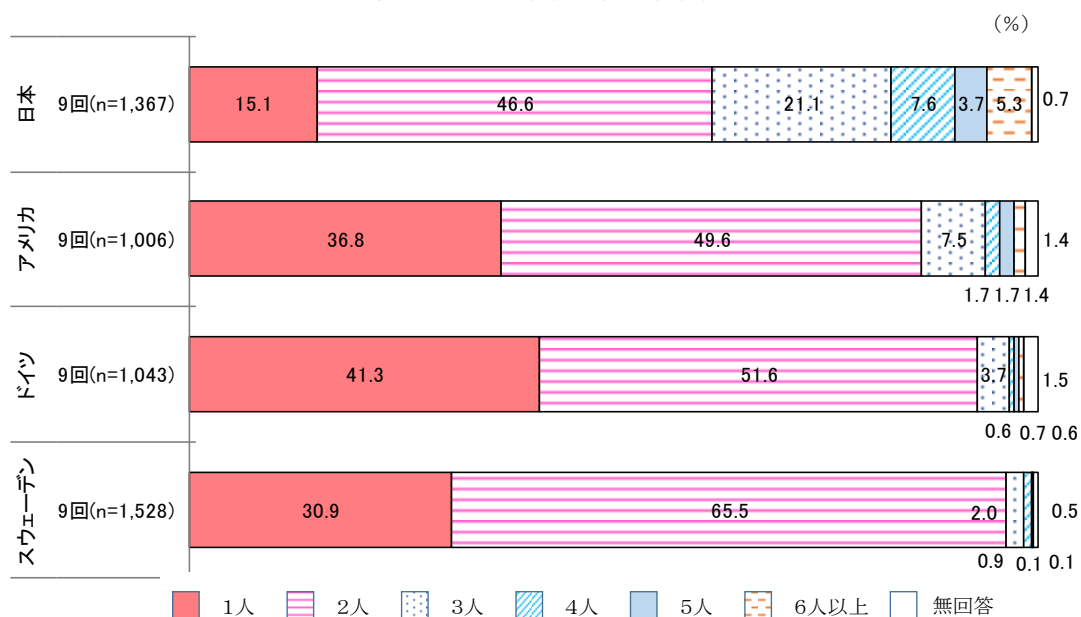
(5) 同居者人数（回答者含む）（F 4-2）

回答者自身を含めた同居者の人数についてみると、各国とも「2人」（日本 46.6%、アメリカ 49.6%、ドイツ 51.6%、スウェーデン 65.5%）の割合が最も高い。

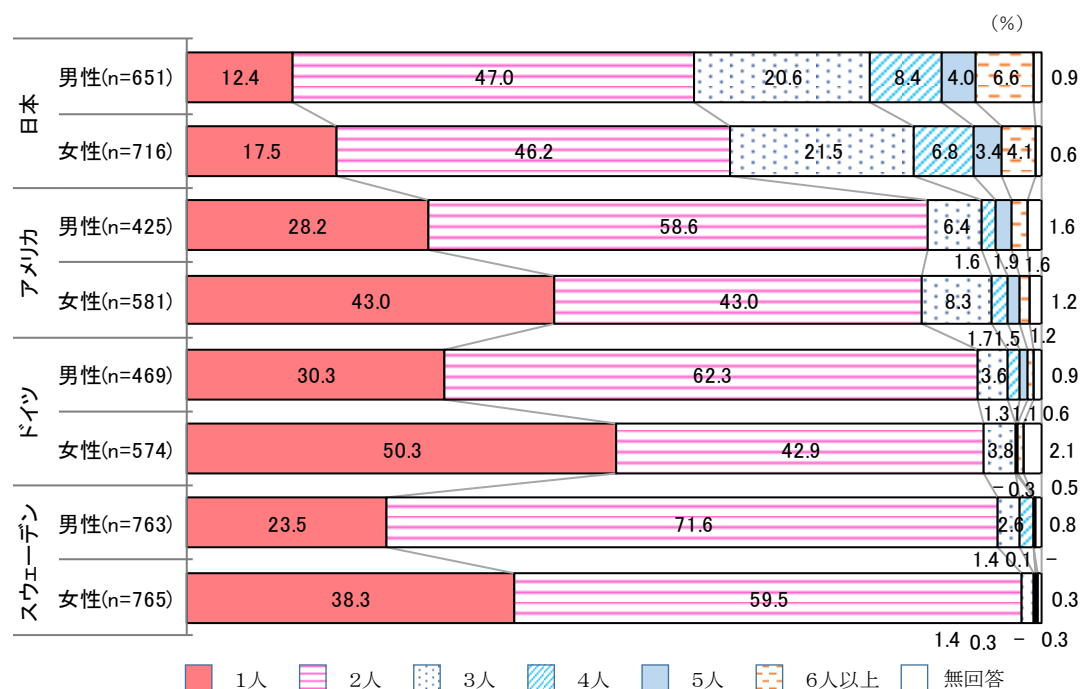
日本では、次いで「3人」（21.1%）の割合が高いが、欧米3か国では「1人」（アメリカ 36.8%、ドイツ 41.3%、スウェーデン 30.9%）の割合が高い。（図表 2-1-5-1）

性別にみると、先にみた家族との同居の状況と同様に、欧米3か国では「1人」の割合が、男性よりも女性が高くなっているが、日本では他国ほど大きな差はみられない。「3人」以上になると、欧米3か国でも男女差が小さくなっている。（図表 2-1-5-2）

図表 2-1-5-1 同居者人数(回答者含む)¹



図表 2-1-5-2 同居者人数(回答者含む)(性別)



¹ 第9回調査での新規設問。

年代別にみると、各国とも年代が高くなるほど「1人」の割合が高くなる傾向があるが、日本では80歳以上でも、「1人」(19.5%)の割合が2割程度であるのに対して、欧米3か国(アメリカ58.0%、ドイツ54.8%、スウェーデン50.3%)では5割を上回っている。(図表2-1-5-3)

図表2-1-5-3 同居者人数(回答者含む)(年代別)

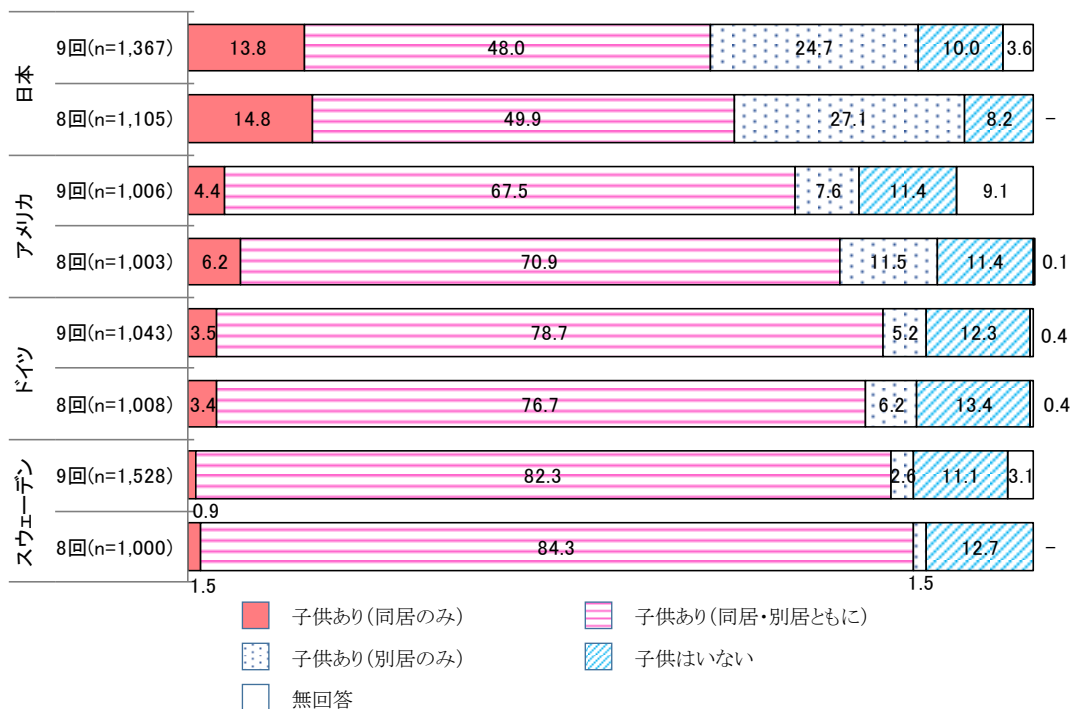
		n	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答	(%)
日本	60～64歳	195	11.8	45.1	26.7	9.2	4.6	2.1	0.5	
	65～69歳	302	12.6	45.0	24.2	8.6	3.3	6.3	-	
	70～74歳	372	13.2	53.0	20.2	5.6	2.4	5.1	0.5	
	75～79歳	231	19.0	49.8	15.2	5.6	4.3	5.6	0.4	
	80歳以上	267	19.5	37.8	19.9	9.7	4.5	6.4	2.2	
アメリカ	60～64歳	189	21.7	55.0	11.6	2.6	4.2	3.2	1.6	
	65～69歳	229	26.6	58.1	8.7	2.2	1.3	1.3	1.7	
	70～74歳	209	32.1	57.4	6.2	1.4	1.9	1.0	-	
	75～79歳	174	47.1	43.7	5.7	1.1	0.6	0.6	1.1	
	80歳以上	205	58.0	32.2	4.9	1.0	0.5	1.0	2.4	
ドイツ	60～64歳	268	34.0	54.1	6.0	1.5	1.9	0.7	1.9	
	65～69歳	209	37.3	55.5	4.8	0.5	-	0.5	1.4	
	70～74歳	204	41.7	53.9	2.0	-	0.5	0.5	1.5	
	75～79歳	194	43.8	50.0	2.6	0.5	0.5	1.0	1.5	
	80歳以上	168	54.8	41.7	2.4	-	-	-	1.2	
スウェーデン	60～64歳	302	25.5	66.9	4.3	3.3	-	-	-	
	65～69歳	329	22.8	73.3	2.7	0.9	0.3	-	-	
	70～74歳	355	26.8	72.1	1.1	-	-	-	-	
	75～79歳	254	31.5	66.5	0.8	-	-	-	1.2	
	80歳以上	288	50.3	46.2	1.0	-	-	0.7	1.7	

(6) 子供の有無（同居・別居別）（F 5）

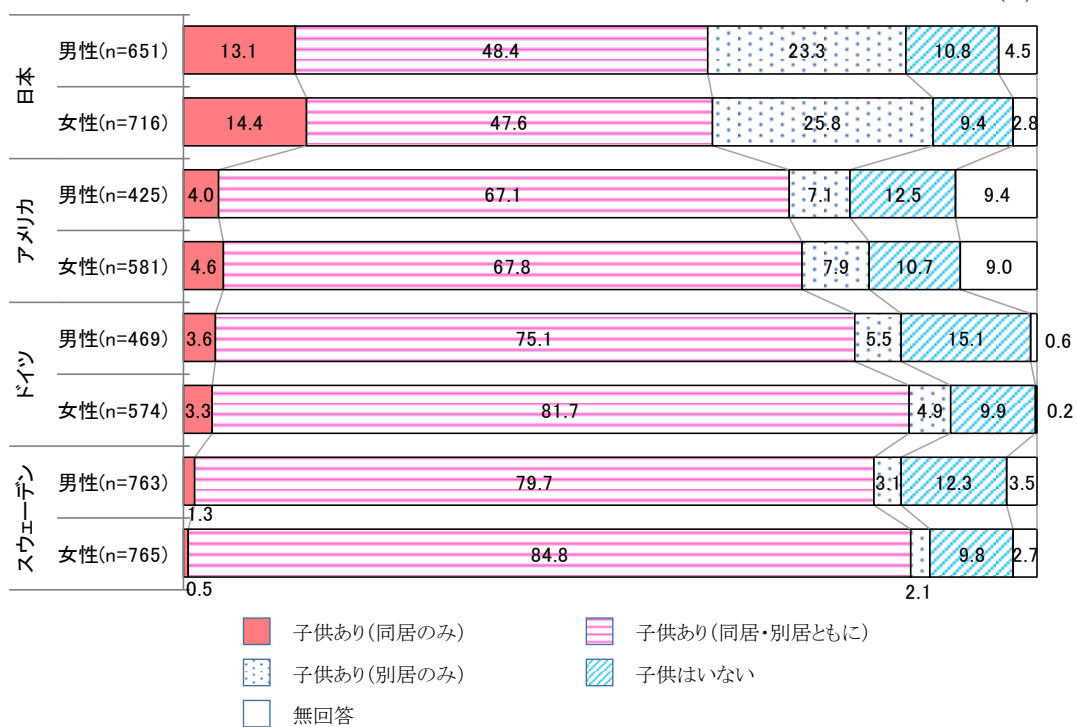
子供の有無を第8回調査と比較してみると、各国とも大きな変化はみられず、各国とも「子供あり（別居のみ）」の割合が最も高い。（図表 2-1-6-1）

性別にみても、各国とも大きな男女差はみられない。（図表 2-1-6-2）

図表 2-1-6-1 子供の有無（同居・別居別）（第8回比較） (%)



図表 2-1-6-2 子供の有無（同居・別居別）（性別） (%)



年代別にみると、各国ともいずれの年代でも「子供あり（別居のみ）」が最も多い。日本の80歳以上では、「子供あり（同居・別居ともに）」（28.1%）に次いで、「子供あり（同居のみ）」の割合が23.2%と、欧米3か国より20ポイント以上高くなっている。（図表2-1-6-3）

図表2-1-6-3 子供の有無(同居・別居別)(年代別)

(%)

		n	子供あり (同居のみ)	子供あり (別居のみ)	子供あり (同居・別居と ともに)	子供はいない	無回答
日本	60～64歳	195	11.8	42.6	25.1	16.4	4.1
	65～69歳	302	11.3	48.0	24.5	12.3	4.0
	70～74歳	372	12.6	53.5	22.0	8.1	3.8
	75～79歳	231	9.5	50.2	24.7	10.4	5.2
	80歳以上	267	23.2	42.3	28.1	5.2	1.1
アメリカ	60～64歳	189	5.3	58.2	13.2	15.3	7.9
	65～69歳	229	5.7	62.9	9.2	12.2	10.0
	70～74歳	209	3.8	68.9	5.7	12.9	8.6
	75～79歳	174	4.0	72.4	4.0	10.3	9.2
	80歳以上	205	2.9	75.6	5.4	6.3	9.8
ドイツ	60～64歳	268	7.5	68.7	7.5	15.7	0.7
	65～69歳	209	2.9	76.6	4.8	15.3	0.5
	70～74歳	204	2.5	81.9	4.9	10.8	-
	75～79歳	194	2.6	82.0	4.6	10.3	0.5
	80歳以上	168	-	89.9	3.0	7.1	-
スウェーデン	60～64歳	302	2.0	74.5	7.0	12.3	4.3
	65～69歳	329	0.9	83.6	2.7	10.6	2.1
	70～74歳	355	0.8	84.5	1.1	12.7	0.8
	75～79歳	254	0.4	85.4	0.8	10.2	3.1
	80歳以上	288	0.3	83.3	1.4	9.0	5.9

(7) 最終学歴 (F 6)

最後に卒業(中退)した学校を第8回調査と比較してみると、「初等・前期中等教育(小学校・中学校)」の割合は、日本(第8回25.4%→第9回18.9%)、アメリカ(第8回8.9%→第9回3.3%)、ドイツ(第8回62.0%→第9回53.9%)で減少したが、スウェーデン(第8回17.1%→第9回26.1%)では増加している。

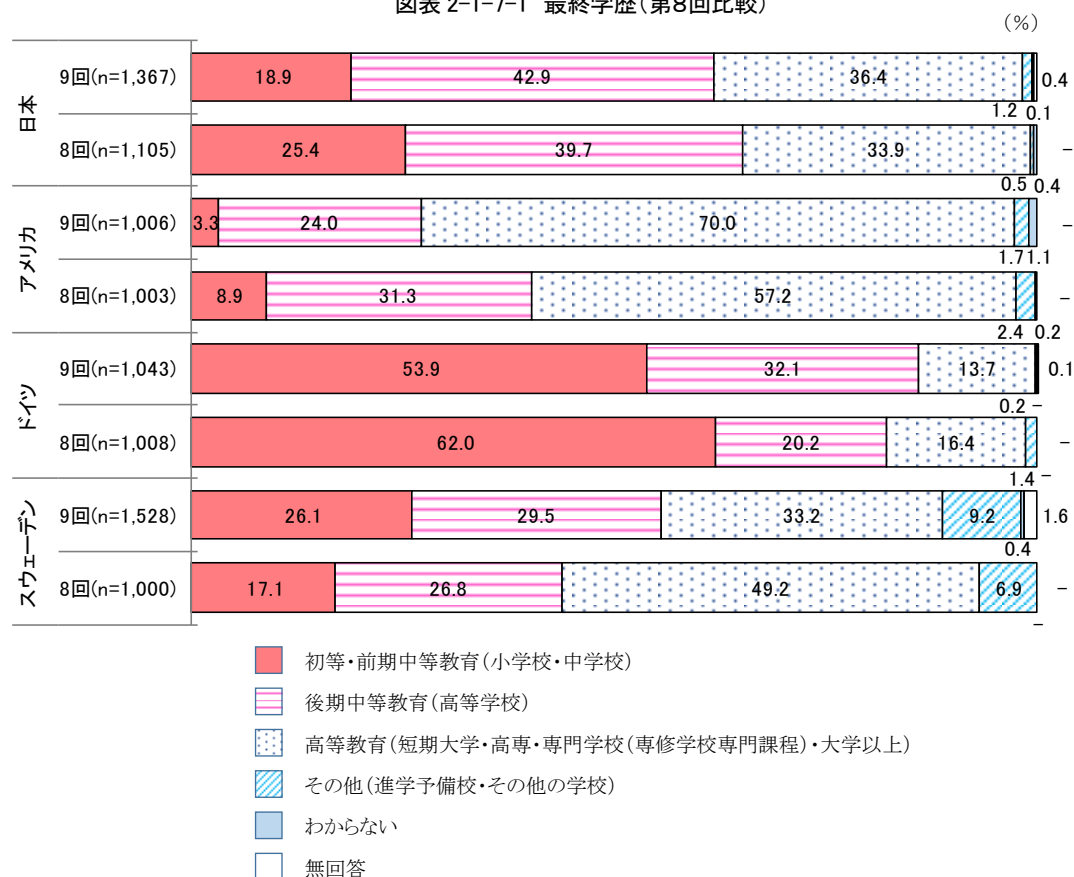
「高等教育(短期大学・高専・専門学校(専修学校専門課程)・大学以上)」の割合は、アメリカ(第8回57.2%→第9回70.0%)で増加した一方、スウェーデン(第8回49.2%→第9回33.2%)では減少している。ドイツでは、「後期中等教育(高等学校)」(第8回20.2%→第9回32.1%)の割合が増加している。(図表2-1-7-1)

性別にみると、「高等教育」の割合は、日本、アメリカ、ドイツでは、女性(日本31.8%、アメリカ67.3%、ドイツ8.7%)より男性(日本41.5%、アメリカ73.6%、ドイツ19.8%)が高い。一方、スウェーデンでは、男性より女性のほうが「高等教育」(男性29.5%、女性37.0%)の割合が高くなっている。

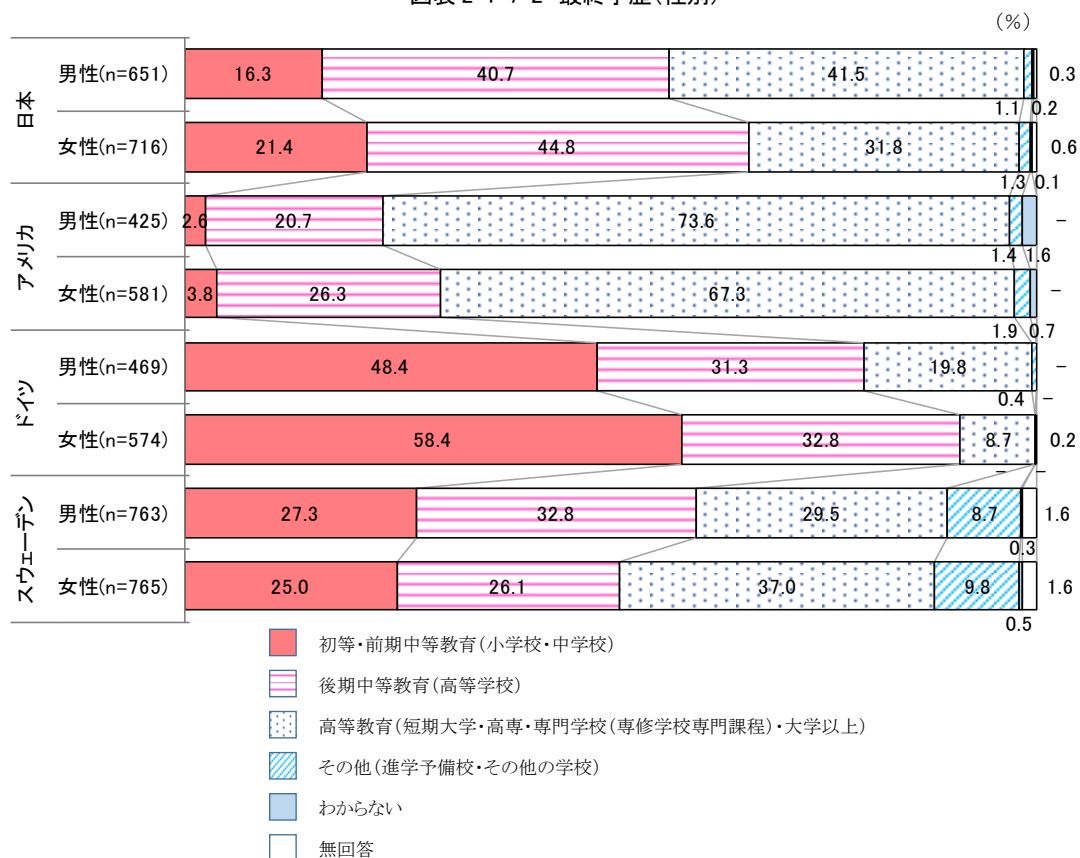
ドイツでは「初等・前期中等教育」の割合が、男性(48.4%)より女性(58.4%)が高い。(図表2-1-7-2)

年代別にみると、日本、ドイツ、スウェーデンでは、年代が高くなるほど「初等・前期中等教育」の割合が高くなる傾向があるが、アメリカでは70歳代までは「高等教育」の割合が7割以上を占め、80歳以上も54.6%と、他の3か国に比べて高くなっている。(図表2-1-7-3)

図表 2-1-7-1 最終学歴(第8回比較)



図表 2-1-7-2 最終学歴(性別)



図表 2-1-7-3 最終学歴(年代別)

		n	初等・前期中等教育 (小学校・中学校)	後期中等教育 (高等学校)	高等教育 (短期大学・高専・専門学校(専修学校専門課程)・大学以上)	その他 (進学予備校・その他の学校)	わからない	無回答
日本	60～64歳	195	5.6	41.0	52.8	0.5	-	-
	65～69歳	302	8.3	43.0	47.7	0.7	0.3	-
	70～74歳	372	13.7	48.9	34.9	1.6	-	0.8
	75～79歳	231	29.0	42.4	26.0	0.9	0.4	1.3
	80歳以上	267	39.3	36.0	22.8	1.9	-	-
アメリカ	60～64歳	189	3.2	19.6	72.5	3.2	1.6	-
	65～69歳	229	1.3	20.1	76.4	1.7	0.4	-
	70～74歳	209	3.8	21.1	73.2	1.9	-	-
	75～79歳	174	3.4	21.3	73.0	0.6	1.7	-
	80歳以上	205	4.9	37.6	54.6	1.0	2.0	-
ドイツ	60～64歳	268	45.1	38.8	15.7	-	-	0.4
	65～69歳	209	42.6	44.0	12.9	0.5	-	-
	70～74歳	204	50.0	30.9	18.6	0.5	-	-
	75～79歳	194	65.5	22.7	11.9	-	-	-
	80歳以上	168	73.2	19.0	7.7	-	-	-
スウェーデン	60～64歳	302	13.2	41.4	38.1	7.0	-	0.3
	65～69歳	329	18.8	33.7	38.3	8.2	0.3	0.6
	70～74歳	355	27.3	27.3	36.3	8.2	0.6	0.3
	75～79歳	254	31.1	24.0	32.7	8.7	-	3.5
	80歳以上	288	42.0	19.4	19.1	14.6	1.0	3.8

(8) 住居形態 (F 7)

現在、住んでいる住居形態を第8回調査と比較してみると、日本とドイツでは大きな変化はみられない。

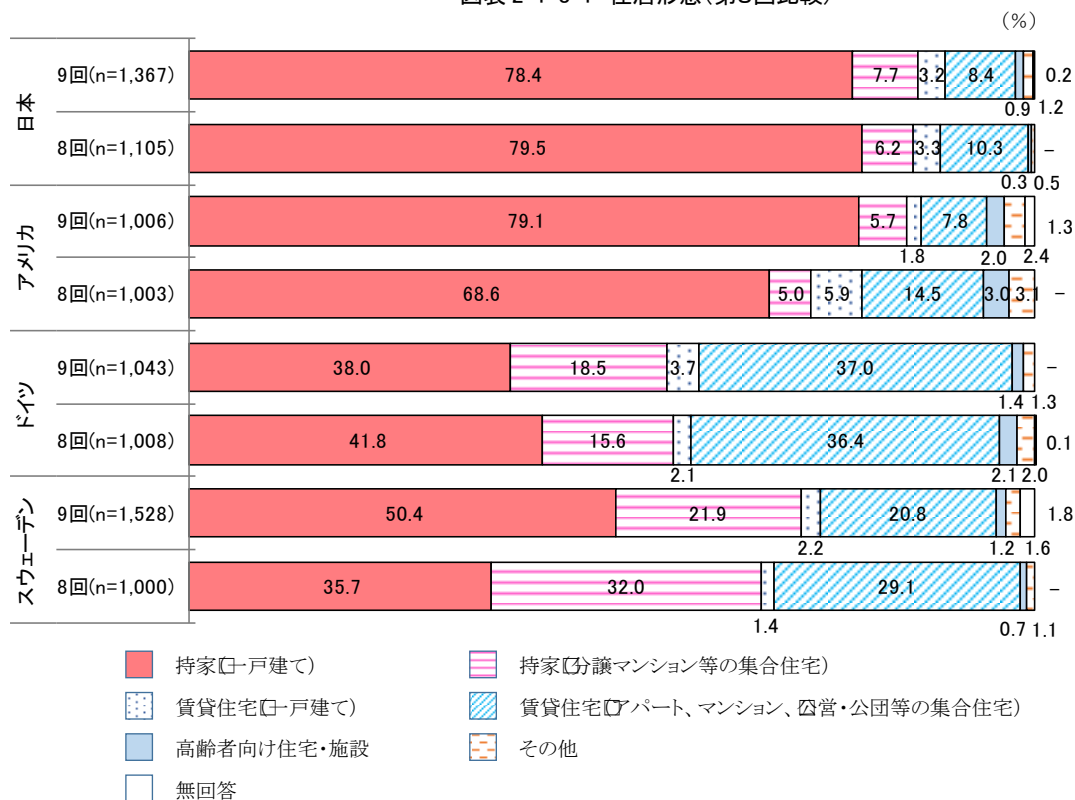
一方、アメリカとスウェーデンでは、「持家（一戸建て）」の割合が、今回調査（アメリカ 79.1%、スウェーデン 50.4%）で、第8回調査（アメリカ 68.6%、スウェーデン 35.7%）より増加し、代わってアメリカでは「賃貸住宅（アパート、マンション、公営・公団等の集合住宅）」（第8回 14.5% → 第9回 7.8%）の割合が、スウェーデンでは「持家（分譲マンション等の集合住宅）」（第8回 32.0% → 第9回 21.9%）の割合が、減少している。（図表 2-1-8-1）

性別にみると、日本とアメリカでは、大きな男女差はみられない。

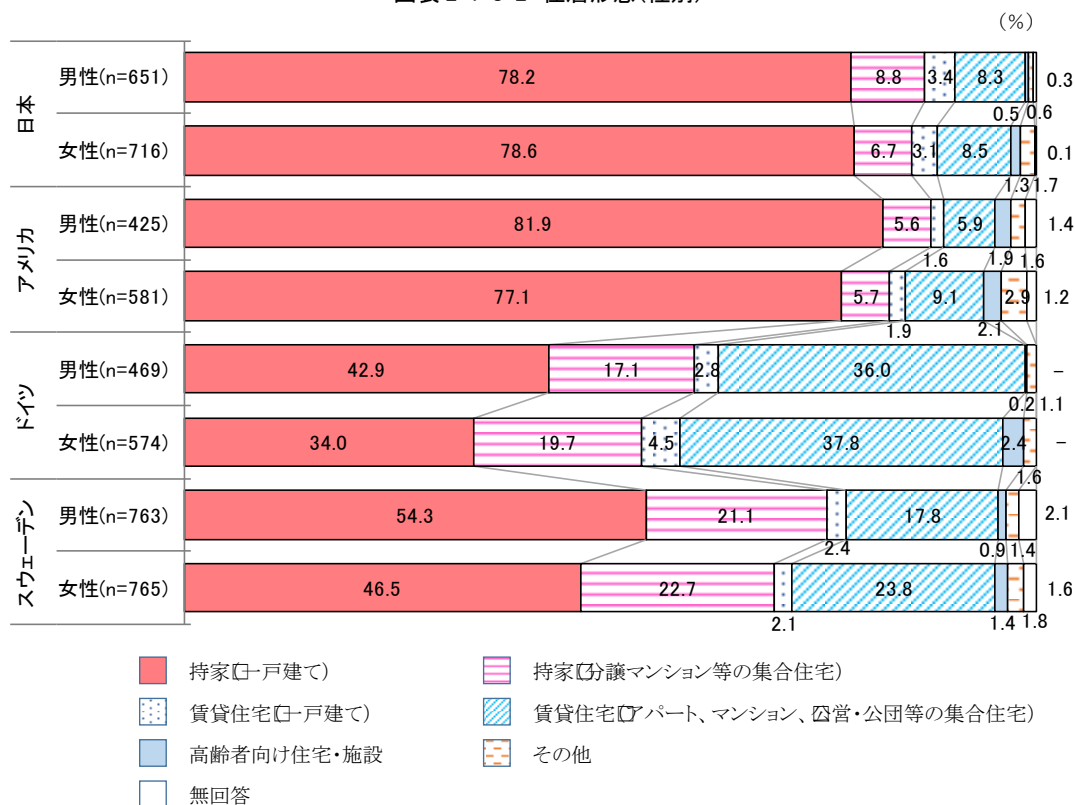
ドイツとスウェーデンでは、「持家（一戸建て）」の割合は、女性（ドイツ 34.0%、スウェーデン 46.5%）より男性（ドイツ 42.9%、スウェーデン 54.3%）が高い。（図表 2-1-8-2）

年代別にみると、各国とも特に大きな差はみられないが、スウェーデンでは 80 歳以上で、「持家（一戸建て）」（33.7%）の割合が、他の年代に比べて低い。（図表 2-1-8-3）

図表 2-1-8-1 住居形態(第8回比較)



図表 2-1-8-2 住居形態(性別)



図表 2-1-8-3 住居形態(年代別)

		n	持家 (一戸建て)	持家 (分譲マン ション等の集 合住宅)	賃貸住宅 (一戸建て)	賃貸住宅 (アパート、 マンション、 公営・公団等 の集合住宅)	高齢者向け住 宅・施設	その他	無回答
日本	60～64歳	195	79.0	8.2	1.0	10.8	-	1.0	-
	65～69歳	302	82.1	6.0	4.0	7.3	0.7	-	-
	70～74歳	372	78.2	8.1	3.8	7.3	0.5	1.6	0.5
	75～79歳	231	75.8	8.2	4.8	10.8	-	-	0.4
	80歳以上	267	76.4	8.2	1.9	7.5	3.0	3.0	-
アメリカ	60～64歳	189	79.9	5.8	1.6	7.9	1.1	1.6	2.1
	65～69歳	229	83.8	4.8	2.6	6.6	0.4	0.9	0.9
	70～74歳	209	81.3	5.7	1.0	5.7	1.9	3.3	1.0
	75～79歳	174	75.9	6.9	3.4	8.6	1.7	2.3	1.1
	80歳以上	205	73.7	5.4	0.5	10.2	4.9	3.9	1.5
ドイツ	60～64歳	268	35.4	17.2	5.6	40.3	0.7	0.7	-
	65～69歳	209	40.2	20.1	3.3	34.4	-	1.9	-
	70～74歳	204	39.2	19.1	2.0	37.7	0.5	1.5	-
	75～79歳	194	35.6	18.6	3.6	39.7	1.5	1.0	-
	80歳以上	168	40.5	17.9	3.6	31.0	5.4	1.8	-
スウェーデン	60～64歳	302	53.3	21.5	2.0	21.2	-	1.0	1.0
	65～69歳	329	57.1	15.2	2.4	22.5	-	1.5	1.2
	70～74歳	355	55.5	23.1	2.0	16.6	-	1.4	1.4
	75～79歳	254	50.0	22.4	2.4	20.1	0.8	2.0	2.4
	80歳以上	288	33.7	28.1	2.4	24.3	5.6	2.4	3.5